

# 9 TOWNS TOPICS



豊里

## 「縄ない」で昔ながらの技体験

豊里小・中学校3年の「縄ない体験」は1月27日、同校で開かれ、児童72人が学校支援ボランティア「ニツ屋老人クラブ緑寿会」から指導を受けました。  
ボランティアの皆さんが、昔ながらの道具を使って「わらすぐり」「わら打ち」の作業を実演。児童にはなかなか難しい作業でしたが、ボランティアの丁寧な指導により、縄を完成させました。昔ながらの作業を体験できる良い機会となりました。

9つのまちのホットな話題をお届けします

## 将来の夢に向けて熱心に勉強

米山中学校1年を対象にした「キャリアセミナー」は1月19日、同校で開かれ、ペットトリマー、建築家、美容師など12職種12人の講師が、生徒たちにこれまでの体験を話しました。  
この事業は、さまざまな職種の人との出会いを通じて、一人一人が将来への目的意識を持つことを目的に実施。生徒たちは、それぞれが選択した講師の講義を受講し、メモしたり、質問したりと熱心に勉強していました。



米山



迫

## 元旦に会話楽しみながら歩く

「森地区元旦あるけあるけ大会」は1月1日、森地区内で開かれ、子どもからお年寄りまで110人が参加し、森公民館を発着点とする約5kmの道のりを歩きました。  
同大会は、健康で明るい地域づくりを目的に実施。本年度で42回目を迎えました。  
参加者たちは、休憩地点の上行寺境内で雲の合間から初日を拝み、それぞれ願い事がかなうようにお祈りしました。



石越

## 交通死亡事故ゼロ 500日達成

石越地区の「交通死亡事故ゼロ 500日達成感謝状贈呈式」は1月13日、石越総合支所で開かれ、佐沼警察署長から石越総合支所へ感謝状が贈られました。  
同地区は、2015年8月25日から交通死亡事故ゼロを継続しており、1月5日に500日を達成。石越総合支所長は「佐沼警察署と協力し、地域が一体となって死亡事故ゼロを千日、2千日と延ばせるように頑張りたい」と決意を新たにしました。

## 新春懇談会で抱負を語り合う

「新年の初めを祝う新春懇談会」は1月6日、登米町観光物産センター遠山の里で開かれ、町内など94人が参加し新年を祝いました。  
懇談会では、岡谷地南部神楽保存会(佐久田和 専会長)が新年の舞「翁舞」と「橋弁慶」を披露。翁舞は神楽の幕開けを意味し、延命長寿、人生の祝宴を歌う、めでたき舞といわれています。参加者たちは、舞を楽しみながら、新年の抱負を語り合いました。



登米

## 住宅火災などの予防方法学ぶ

南方公民館の高齢者事業「南寿大学」は1月27日、南方公民館で開かれ、地域住民14人が参加し防災について学びました。  
講義は、登米市消防署員を講師に迎え「家庭でできる火災や地震の予防について」をテーマに、住宅火災の原因と防火のポイント、地震に対する備えなどを分かりやすく説明。参加者たちは、住宅の中で強度が高い場所は「トイレ」であることなど、初めて知る情報に驚いていました。



南方



東和

## 日頃の訓練の重要性を再認識

「東和地区文化財防火デー防災訓練」は1月29日、東和町米谷「不老仙館」で開かれ、地域住民をはじめ自主防災組織、消防団員、消防後援会員、婦人防火クラブ員ら150人が参加しました。  
訓練は、庭園で火災が発生したと想定し実施。通報・消火訓練、非常時持ち出し訓練、消火器の取り扱い訓練などをしました。参加者たちは、真剣に取り組み、日頃の訓練の重要性を再認識していました。



津山

## みんなで守ろう地域の文化財

「津山町文化財防火デー防災訓練」は1月29日、津山町柳津「大日如来神社」で開かれ、地域住民や関係者ら約80人が参加しました。  
訓練は、近隣の山林から出火し、神社に延焼する恐れがあると想定し実施。119番通報、重要物品の搬出、初期消火、バケツリレー、応急救護などを訓練しました。参加者たちは、貴重な文化財を火災から守ろうと、真剣に訓練に取り組んでいました。

## 石ノ森先生との思い出を語る

「石ノ森章太郎メモリアルデー」は1月22日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開かれ、イベントが催されました。  
トークショーでは、石ノ森先生のアシスタントとして、10年間作品作りに携わった漫画家「早瀬マサト」氏が登場。石ノ森先生との懐かしい思い出など、身近にいたからこそ知り得た話に来場者たちは聞き入っていました。このほかにも、ワークショップやもちつき体験なども行われ、多くの来場者でにぎわいました。



中田